

新春
特別展

令和5年1月6日(金)～3月5日(日)

播磨に息づく匠の技

伝統技術に裏打ちされた、新たな作品づくりに取り組む木と漆の現代作家の作品を紹介



江藤國雄



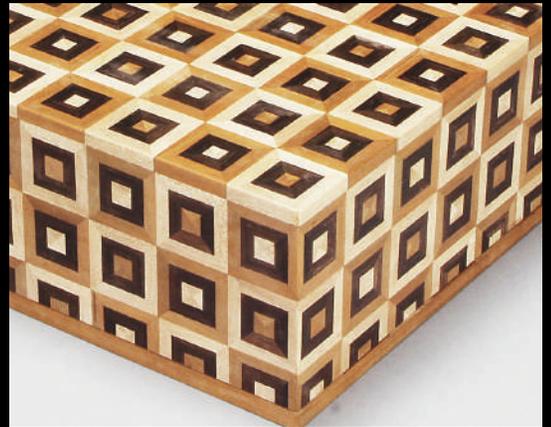
野村俊彰



三浦信一



椎名光弘



橋立木楽



宮下賢次郎

姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201
兵庫県姫路市書写1223番地
TEL.079-267-0301
FAX.079-267-0304
<https://www.city.himeji.lg.jp/kougei/>

姫路市書写の里
美術工芸館
SHOSHA ART & CRAFT MUSEUM



会場 姫路市書写の里・美術工芸館(企画展示室)

開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日を除く)、1月10日(火)、
2月24日(金)

●2月26日(日)は「姫路城マラソン」開催により近隣の交通規制がありまわりのご留意ください。

入館料 一般310円(280円)、大学・高校生210円(180円)、
中学・小学生50円(40円) ※()内の料金は20人以上の団体

●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受け
た方、及び介護者1人、ごんぐりカード、ひょうごっ子ココロ
カード提示の小中学生、姫路市内に在住の65歳以上の方は無料。

主催 姫路市書写の里・美術工芸館、
播磨伝統美術工芸会

企画 公益財団法人 姫路市文化国際交流財団



新春特別展「播磨に息づく匠の技」

姫路を中心とした播磨地域では、古くから木を用いて優れた工芸品が数多く作られ、江戸時代から昭和に至るまで、茶の文化とともにさまざまな工芸品が生まれてきました。その伝統的な素地が、今日も多くの工芸品を生み出している要因となっているといえるでしょう。

木と漆に焦点をあてるこの展覧会は、隔年開催で5回目を迎えます。一昨年での開催に引き続き、兵庫県内を基点に全国的に評価される伝統工芸作家の作品を約30点展示し、伝統的な技に裏打ちされた新たな作品づくりを紹介します。



螺鈿時絵八角箱「夏の華」

昭和28年生まれ。昭和49年、石川県羽咋市の蒔絵師・石橋穰、重要無形文化財・北村昭斎に螺鈿師事。平成16年、日本伝統工芸近畿展近畿支部長賞。平成24年、姫路市芸術文化賞受賞。

平成31年、作品宮内庁お買い上げ。日本伝統工芸展に毎年出品するとともに、全国の重要文化財建築物や仏像等の修復を手掛ける。日本工芸会正会員。

江藤國雄

えとうくにお

蒔絵



袖代杉線象嵌十角箱

昭和19年生まれ。平成4年、和家具の指物師・松家輝夫に師事し、指物・拭漆を習う。平成9年、日本伝統工芸展に初入選、以後20回入選。平成24年、作品宮内庁お買い上げ。日本伝統工芸木竹展、平成27年日本工芸会賞および令和3年日本工芸会木竹部会賞。現在、重要無形文化財保持者の中川清司に師事し、木画を習う。日本工芸会正会員。

椎名光弘

しいなみつひろ

指物



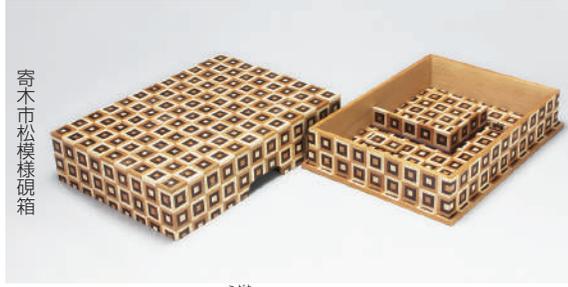
桜造葡萄絵カップ

昭和25年生まれ。武蔵野美術大学卒業後、石川県山中町にて木地師・佐竹常良に師事、漆工を呉藤大三に習う。昭和56年、姫路市にて独立。日々の暮らしに活かせる作品を中心に、ろくろ挽きによる器作りを行う。

野村俊彰

のむらとしあき

木漆器・挽物



寄木市松模様硯箱

昭和17年生まれ。本名は木。昭和44年、姫路の指物師・吉岡雅治に師事。昭和48年に師の吉岡が没した後、風炉先や菓子器など、木の性質を活かした茶道具類の制作を中心に行う。

橋立木楽

はしたてきらく

指物



黒柿蘇芳染草花文嵌荘盒

昭和33年生まれ。昭和56年以来、日本伝統工芸展に出品を重ね、平成5年に奨励賞、令和3年文部科学大臣賞、いづれも文化庁買い上げとなる。正倉院御物を研究し、和木・唐木にこだわらず、金属・象牙などさまざまな素材を使用し、創作を行っている。日本伝統工芸近畿展大阪府教育委員会賞・松下幸之助記念賞・日本経済新聞社賞。姫路市芸術文化賞。令和4年日本伝統工芸展監査委員となる。

三浦信一

みづらしんいち

指物・剝物



紫檀網代角形茶櫃

昭和18年生まれ。平成3年、大阪唐木指物として通産省の伝統工芸士に認定。平成11年、日本伝統工芸展で日本工芸会奨励賞。日本伝統工芸近畿展平成12年、和歌山県教育委員会教育長賞および平成13年奈良県教育委員会教育長賞。平成12年、姫路市芸術文化賞受賞。同年、作品が宮内庁お買い上げとなる。日本工芸会正会員。

宮下賢次郎

みやしたけんじろう

唐木指物

同時開催

所蔵品展Ⅱ
「清水公照の世界」
●1月6日(金)～4月9日(日)

郷土玩具室コーナー展示
「宮崎県の諸玩具」
●12月17日(土)～4月6日(木)

他館展覧会情報

姫路市立美術館 ☎079-222-2288
第76回「姫路市美術展」
●2月18日(土)～3月5日(日)

姫路文学館 ☎079-293-8228
企画展「没後40年記念 歌人安田青風展」
●1月14日(土)～3月26日(日)



交通のご案内

- JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス「書写山ロープウェイ」行きで約25分、終点下車徒歩約3分
- 姫路バイパス・姫路西ランプより約15分。山陽自動車道・姫路西インターより約10分。中国自動車道・夢前スマートICより約20分
- 無料駐車場／45台

会期中の関連イベント

- ◆作品鑑賞会
日時／1月14日(土)、22日(日)、2月11日(土祝)、19日(日)14:00-14:30
内容／担当学芸員が展示会場でみどころをお話します。
定員／各日とも先着15名。1時間前から整理券を配布。
備考／距離をあけてご参加ください。どなたでもご覧いただけますが入館料が必要です。
- ◆紫檀の箸づくり教室
日時／1月28日(土)①9:30-11:00 ②11:00-12:30 ③13:30-15:00 ④15:00-16:30
講師／宮下賢次郎氏(唐木指物師)
内容／高級木材のシタンを使い、磨きや仕上げなど唐木指物の工程を体験できます。
定員／各6人 参加費／700円 要事前申込／※締切日1/19(木)
- ◆金継ぎ体験教室
日時／2月5日(日)①9:30-11:00 ②12:30-14:00 ③15:00-16:30
講師／江藤國雄氏、江藤雄造氏(ともに蒔絵師)
内容／ひとりで2点までの陶器や磁器の欠けた部分にパテを埋め、金粉を蒔き、漆を上塗りして仕上げます。
定員／各10人(漆にかぶれやすい方はご遠慮ください) 参加費／3,500円 要事前申込／※締切日1/26(木)
- ◆その他のイベント
- ◆麦わら細工でキーホルダーをつくる
日時／1月15日(日) ①11:00-12:30 ②13:30-15:00
講師／神谷俊彰氏(かみや民藝店)
内容／3cm角の木板に、麦わらを貼り付けキーホルダーを作ります。
定員／各15人(小学3年生以下は保護者同伴) 参加費／1,000円 要事前申込／※締切日1/6(金)

◆事前申込方法◆締切日までに必着で往復はがきか、ホームページの応募専用サイトから申し込み。応募多数の時は抽選。